

## 教育課程の意義

### 教育課程

教育課程とは、大学の教育目標を達成するための具体的な教育内容（授業科目）を、どのような順序で履修するかを規定（学年別に配列）したものである。

スポーツ健康学科では多面的な視点から「スポーツと健康」を探求・究明する人材の育成を目標としており、「教養教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」と科目区分ごとに科目が設置されている。また、「専門教育科目」は、領域ごとに履修できる科目群が異なるため、学生諸君は、卒業後の進路を見据えて、4年間の履修計画を作成する必要がある。

### スポーツ健康学科の教育課程の概要

1. 「教養教育科目」は、全学共通科目を位置づけ、大学生としての幅広い教養と社会性に必要なアカデミックスキルやライフデザインスキル獲得のための共通コア科目と、共通選択科目を設置する。
2. 「専門基礎教育科目」は、「専門教育科目」への導入とし、「ウェルネス」「スポーツ」「健康」を理解する基礎となる科目群を設置する。
3. 「専門教育科目」は、体系的な知識を応用し、実践する能力を養う科目で構成する。「健康づくり指導・実践」の基礎を習得することを目的とし、健康支援人材として必要な「健康」「スポーツ」に関する基礎的内容を設置する。
4. 「スポーツ領域」では、スポーツパフォーマンスの向上やアスリートの養成、ハイレベルなスポーツ指導者・コーチ、実践的な保健体育教員を目指すために必要なスポーツ科学や実践を学ぶ科目を設置する。「健康領域」では、個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための健康指導のスペシャリストや、養護教諭を目指すために必要な健康科学の理論や実践を学ぶ科目を設置する。

## 授業科目の区分と卒業に必要な単位数

履修計画のために知っておくべきこと

### 📌 授業科目の区分と卒業に必要な単位数

スポーツ健康学科が開設する授業科目は、大きく「**教養教育科目**」と「**専門教育科目**」に分けられ、これらの科目はさらに小さく区分されている。卒業するためには、合計で124単位以上が必要であるが、**それぞれの科目区分ごとに取らなければならない単位数**があり、このルールを守らなければ卒業することはできない。なお、それぞれの科目区分から取るべき単位数を越えて修得した単位は、「**自由選択科目**」としてカウントされる。

授業科目の区分		必修	選択	卒業に必要な単位	小計	
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8	0	8単位	34単位以上
		ライフデザイン科目	4	0	4単位以上	
		思想と論理科目	0	2	2単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2単位以上	
		健康スポーツ科目	0	2	2単位以上	
	共通選択科目	外国語科目	8	0	8単位以上	
		国際理解科目	0	2	2単位以上	
		人文科学科目	0	2	2単位以上	
		社会科学科目	0	2	2単位以上	
		自然科学科目	0	2	2単位以上	
専門基礎教育科目		12	10	22単位以上	22単位以上	
専門教育科目		8	50	58単位以上	58単位以上	
自由選択科目		0	10	10単位以上	10単位以上	
合 計		40	84	124単位以上		

【備考】自由選択科目にライフデザイン科目、専門基礎教育科目、専門科目及び教職に関する科目を含めることができる。

### 取るべき単位数

**科目区分の「何単位以上」を守らなければ、仮に124単位を取得しても卒業できない。**

#### 【教養教育科目】

本学における学習に必要な最低限の知識と技能を身につけ、専攻分野の授業内容を十分に吸収できる基礎学力を養成するための学習領域である。

#### 【専門教育科目】

専門性の高い学習領域で、「専門基礎教育科目」と「専門教育科目」により構成されている。

### 📌 必修科目と選択科目

授業科目のうち、卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目を「**必修科目**」といいます。また、指定された授業科目群の中から選択して単位を修得する科目を「**選択科目**」といいます。